

2025 Vol.1 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、
『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

●特集の有識者提言では、「テストを『形成的評価』で捉える」ことの重要性が述べられていました。テストは次の学びにつながる貴重なデータであると認識しつつも、テスト自体が目的化してしまい、実際はなかなか活用できていません。その点で、特集のテーマである「自分で学びを調整する力」は、子どもに限らず、技術革新や社会変化が速い現代を生きるすべての人に必要な力だと思いました。

(長野県)

●特集で埼玉県久喜市教育委員会や神奈川県横浜市教育委員会が取り組んでいるように、市全体でクラウドを活用し、ソフトウェアなどが整備されれば、学校現場としてもありがたいと思います。両市ともに独自の予算と計画で実施されていましたが、そこには大きな地域間格差があります。国主導で、両市のようなモデルケースを全国各地に広めていく体制づくりが必要だと考えます。

(富山県)

●特集の埼玉県久喜市立桜田小学校の事例を読み、クラウド型の表計算ソフトを使って、子どもが自分の進捗状況を把握できることが、自己調整学習につながっているのだと感じました。さらに、振り返りシートの共有やチャットの活用などで、子ども同士のかかわり合いを促している点が素晴らしく、そうした学びの過程をデータ化することで、授業改善につながることも利点だと思いました。

(東京都)

●特集では、朝学習や帯学習を自分で学ぶ時間にし、自己調整学習につなげる活動にしている神奈川県横浜市立義務教育学校緑園学園の事例に興味を持ちました。生成AIでの分析と担任が持つ情報を併用することで、より子どもの実態に近い判断につなげている点は、デジタルとアナログを連携させた好事例だと思います。また、ダッシュボードを活用して担任をサポートする体制は、持続可能な取り組みになっていると感じました。

(北海道)

●特集のテーマに取り上げられたように、昨今は教育データの利活用が注目されていますが、客観的なデータの活用とともに教員一人ひとりが感性を磨き、子ども一人ひとりを見取る力を養わなければ、教育課題の解決は今後も難しいでしょう。「教育は人なり」と言うように、データに振り回されないことが大切だと考えます。

(東京都)

●連載「教育長の視点～その先にあるもの～ダイジェスト」は、教育長の視点がうまくまとめられていると思います。全編を読んでみたいと思える記事を見つけやすいと感じました。

(富山県)

●連載「教委の新規事業実現までのストーリー」の岡山県岡山市の事例では、学習支援ソフトウェアとICT支援員を配備し、教員の負担を減らしながらICT活用率を上げて、授業改善を図っていました。どの教育委員会も同じように取り組んでほしいと思います。

(香川県)

●連載「データで教育を読む」の記事には、10年間で父親と子どもとの会話が増加していると示されていました。コロナ禍以降、父親が家庭にいる時間が増えたことは、父親の保護者会への参加率が高くなっていることと関係するのではないかと思います。また、思春期の中学生において、父親に「友だちのこと」を話す割合が10.5ポイントも増加している点に注目し、子どもの精神面での成長との関連性についても様々に考えました。

(東京都)

●連載「教育×シティプロモーション 先進事例紹介」の茨城県猿島郡境町による英語教育の先進事例は、とても参考になりました。学校だけ、地域だけの取り組みではよい施策も長続きせず、広がっていきません。自分たちの学校・地域をどのようにしたいのか、そこで育つ子どもがどんな大人になってほしいのかを、学校と地域がともに考え、一体となって取り組むことが大事だと思いました。

(長野県)

編集後記

兵庫教育大学が主催する「教育長の学びの場」を見学しました。自身のキャリアにとらわれずに情報収集することの重要性を体感する演習が行われ、活発な意見交換がなされていました。休憩中に何人かに参加理由を尋ねると、「ケーススタディーを通じてどう判断したのかが聞いて勉強になるから」「教育長は到達点ではない。学びと実践の往還をするチャンスにしたいから」という答えが返ってきました。教育界の創造と変革の志士を育成する空間だと思いました。(齋藤)

VIEWnext 教育委員会版 2025 Vol.2

2025年10月6日発行/通巻38号

発行人 田村隆憲 編集人 柏木 崇

発行所 株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー

VIEW next 編集部

〒163-0415 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング

印刷製本 研精堂印刷株式会社

編集協力 有限会社ベンダコ、株式会社オソノ

執筆協力 二宮良太

撮影協力 岸 隆子

©Benesse Corporation 2025

※次号の発刊は、2026年2月を予定しています。